

磁性体

物質を 磁化されやすさの度合いにより、
強磁性体、常磁性体、反磁性体、の 3 つに分類することができます。

比透磁率 μ_r の大きさにより、物質を以下のように 3 つに分類します。

磁性体の種類	比透磁率 μ_r の大きさ	物質例
強磁性体	$\mu_r \gg 1$ (μ_r がとても大きいもの)	鉄、ニッケル など
常磁性体	$\mu_r > 1$ (μ_r が 1 より大きいもの)	アルミニウム、 パラジウム など
反磁性体	$\mu_r < 1$ (μ_r が 1 より小さいもの)	銀、銅、鉛 など

強磁性体とは、鉄のように 磁石に近づけると強く磁化されるもの

常磁性体とは、わずかに磁化されるもの

反磁性体とは、強磁性体とは反対の向きに、ごくわずかに磁化されるもの です。

透磁率の大きさにより物質の磁化される度合いは違い、

透磁率の大きい物質ほど 磁化されやすい物質になります。

ちなみに、透磁率の大きい物質は 比透磁率も大きくなります。